

「(仮称) 私のまちについて語り合う会」開催イメージ

地区名	語り合う会によって実現したいこと	呼びかけメンバー	頻度	話し合いのテーマ	工夫
岩園地区	<ul style="list-style-type: none"> これまでつながりの少なかった、コミスクと福祉施設、ボランティアと自治会がつながる 各団体・グループの活動に、興味のある住民などが参加し、広がり充実する 	民生児童委員、福祉推進委員、自治会、コミスク、小学校、福祉施設、福祉専門職、ボランティア、商店、企業等	年2～3回	<ul style="list-style-type: none"> 防災 人と人のつながりづくり 各グループ団体の活動共有 	<ul style="list-style-type: none"> 地縁団体や、民生児童委員、福祉推進委員以外のメンバーが参加できるように、時間帯やテーマを設定し、呼びかける
朝日ヶ丘地区	<ul style="list-style-type: none"> 地域の住民同士がつながり、まちづくりを進める基盤になる 住民と専門職がつながり、福祉の理解が進み、地域の福祉力が高まる 地域行事等への参加の促進と協力が進む 	地域住民、民生児童委員、福祉推進員、自治会、老人会、子ども会、コミスク、小学校、福祉施設、福祉専門職、商店、企業等	年2回	地域住民の関心のあるテーマ (健康、福祉、防災、環境、SDGS等)	<ul style="list-style-type: none"> 学びの場(セミナー、ワークショップ等)をとおして参加者同士が交流できる場にする 芦屋大学の協力を依頼する
宮川地区	<ul style="list-style-type: none"> 各町それぞれ活発に取り組まれているので、地区全体での共有・すり合わせの機会を持つ それにより見えた新たな気づきや課題を全体で話し合う この話を進める際には子ども・子育て世代にも関わってもらおう 	民生児童委員、福祉推進委員、自治会、自主防災・防犯会、子ども会、コミスク、学生、保護者等	年2～3回程度	防災(子ども、その親世代をどう巻き込むか)	<ul style="list-style-type: none"> 圏域の学校に通う宮川地区在住の中学生を把握する(子ども会等に協力依頼) 若い世代が関心のもてる防災訓練を企画する(運動会、ゲーム、ワークショップ、『楽しく学べる防災啓発ツール』の活用等)
潮見地区	<ul style="list-style-type: none"> 地域で活動する各団体がゆるくつながれる場を持つ 子どものうちからさまざまな世代や立場の人と関わり、話を聞いてもらう経験をすることで、まちへの安心感や愛着を育む 	地区福祉委員会代表、芦屋浜自治連より代表数名、中学校生徒会、保護者、学校園、子ども食堂、福祉専門職等	1～2か月に1回程度	地域で子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや若い世代が自由に発言できるようにする やってみたいことは地域を挙げて取りくめるよう、根回し必須 誰をつれてきてもよい